

## 審判員派遣報告書

1	派遣事業名	2019年度 3x3TLG担当審判員研修会	2	派遣期日	2019/5/17～18
3	報告者名	小島 慶子（社会人連盟）	4	派遣先	クロススポーツマーケティング(株)会議室

5	大会概要 および 大会結果				
	大会名称		大会期間		
	大会内容				

6	担当したGame				
No	期日	対戦カード	R/U	相手審判	ゲーム雑感
1					
2					
3					
4					

7	審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等
	<p><b>【研修内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新ルール解説</li> <li>・ 実技見学(3x3.EXE PREMIER @ワテラス) →3x3.EXE PREMIERの開催期間は5月～6月     (1)レギュラーラウンド (2)インターカンファレンス (3)プレーオフ</li> <li>・ ポストゲームMTG →スケジュール通りの運営を心がける →チェックボールやタイムアウト後のスタートを早くさせる →声を使ってゲームをリードする</li> <li>・ 3x3の現状、行動規範の確認</li> <li>・ プレーコーリングガイドライン →PNR時のムービング、シリンダーを越えるもの、エクステンディングアーム     逆にPNRするオフENSEをホールドするもの →リバウンド時の後方からのホールドやプッシュ →バウンダリーライン付近のプッシュ</li> <li>・ メカニクス →エリア、アングルのベーシックを確認</li> </ul> <p><b>【感想】</b></p> <p>3年前は十数人だったTLG担当の審判が、現在では52人にもなっていることを知りました。ゲーム数が増えたこともあるが、当初から3x3に携わりここまでにしてくださった方々の存在を改めて感じ感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>3x3は、オリンピック種目となり、世界ではもちろん、日本でも人気のスポーツとなってきています。観客、プレイヤー、TO、MC、審判、全員でエンターテインメント性を高めていくことができるのが最大の魅力だと思います。</p> <p>県内やブロックでもイベントが増えてきました。今回学んだことを伝えていきたいと思います。派遣に際しまして、多大なるご配慮をいただきありがとうございます。</p>

## 審判員派遣報告書

1	派遣事業名 2019年度3x3トップリーグ担当審判員研修会	2	派遣期日 令和 元年 5月18日(土)19日(日)
3	報告者名 田中 豊弘 (社会人連盟)	4	派遣先 クロススポーツマーケティング社 会議室

<b>5 派遣事業概要</b>			
研修会名称	2019年度3x3トップリーグ担当審判員研修会	大会期間	令和元年5月18日(土)19日(日)
大会内容			
<p>5/18(土)</p> <p>12:30 受付開始            13:00 開講式(甲木副部長挨拶、講師紹介)            13:05 諸連絡;高森 0.5Hr            13:45 講義I(新ルール解説;甲木 0.5Hr)            14:15 徒歩移動            15:00 実技見学【3x3.EXE PREMIER@ワテラス】(担当:TC嶋崎、青木、和嶋、南部) 18:30 徒歩移動            19:00 ポストゲームミーティング(進行:TC嶋崎、解説:甲木) 20:00 解散</p> <p>5/19(日)</p> <p>10:00 集合 3x3の現状、行動規範ほか高森;1Hr            11:00 講義II(プレーコーリングガイドライン1;甲木 1Hr) 12:00 昼食(弁当)            13:00 講義III(プレーコーリングガイドライン2;甲木 2Hr) 15:00 講義IV(メカニクス;武井 45Min)            15:45 閉講式</p>			

<b>6 全体の感想および提言等</b>			
<p>今回の研修は5月からシーズンが始まる3X3 PREMIER.EXE を担当する審判員が招集され研修が行われた。昨シーズンからの変更点で、ルール変更の確認、新たなガイドラインの確認、メカニクスの確認をする事でトップリーグの基準を共通認識した。特に、トップ選手にとってオリンピック種目になった事や、ツアーや大会の賞金が増えた事でゲームの価値に変化が出てきた事により、クリーンでエキサイティングなゲームを提供する事が求められるようになった。多くの人々が3X3を目にする機会が増え、3X3の競技人口の増加やプロチームの増加、ゲーム数の増加等、3 X3の競技をする環境の変化が急成長を遂げていると感じた。</p> <p style="text-align: right;">研修は、初日にルール変更の確認とPREMIER.EXEの開幕を観戦、ポストゲーム(試合後のミーティング)、2日目に座学といった内容で行われた。開幕ゲームは沢山の観客が集まり、リーグの成長の可能性を感じるものであった。担当レフェリーは、ゲーム前にしっかりミーティングをおこない新ルールへの対応やガイドラインの適用等適切に実行しようという強い意思を感じた。ポストゲームでは、3X3の特性が発揮されるようにスピーディーで激しいゲームの流れをコントロールできるようにする事が反省点としてあげられていた。座学では、新しい行動規範についての周知がありトップリーグを担当する審判員としての振舞いや姿勢を意識して行動する事が求められた。新たなガイドラインやルール変更には統一した見解をお互いに確認し基準の確認をした。今回このような研修に参加させて頂き改めてゲームの価値を高める為に自分のレフェリングを自己研鑽して判定の質の向上やプレゼンテーションの改善をする必要があると感じた。それと共に今回得た情報を県内にも広げ県内の3X3審判員の人数を増やし普及させる必要があると実感した。</p> <p>最後に、今回このような研修に快く参加させて頂いた県協会、県審判委員会の皆様に感謝致します。</p>			

## 審判員派遣報告書

1	派遣事業名	2019年度 3x3TLG担当審判員研修会	2	派遣期日
				2019/5/17～18
3	報告者名	仲地祥吾 (U18)	4	派遣先
				クロススポーツマーケティング(株)会議室

5	大会概要 および 大会結果			
	大会名称		大会期間	
	大会内容			

6	担当したGame					
	No	期日	対戦カード	R/U	相手審判	ゲーム雑感
	1					

7	審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関すること、全体の感想および提言等				
<p>○研修会の目的 ・基準の統一 ・お互いを知る → シーズンを通してみんなで成長する。</p> <p>○競技規則変更店の説明(甲木氏)          UF … プレーヤーの1個目のUFはフリースロー2本のみ              ※2個目は2本のフリースローとポゼッション              UFとDQはチームファウルにおいて2個のファウルとしてカウントする。          TF … フリースロー1本のみ          ・オフENSEのキックアウト              → ボールが手にある内にコンタクトが起きた場合はオフENSEファウル              手から離れている場合はTF              …再開はジャンプボールシチュエーションなのでディフェンスチームから再開</p> <p>○ポストゲームカンファレンス          ・試合の環境が変わった。有料席が設けられる。 → B.league、WJBL同様に商品としての価値が上がった。          ・チェックボールやDOGについて審判が試合をリードするべきであった。              → 攻守の切り替えが遅いときはすぐに警告。試合間の2分間が終了するときには6人がコートでスタンバイしている状態を作るべき。          ・3x3特有のルールへの対応。セミサークル内でのディフェンス等。          ・ムービングピック…5on5よりもシビアに。横にずれるもの、手のひらを向けてのスクリーンはすぐに。          ・スクリーナーのP&amp;R後のFOMの確保。          ・インサイドのポストプレーはAD/DAを確認。すぐに吹かない。          ・ワーニングは大きな声を使って。良いプレゼンに繋がる。          ・UF…By any meansの考え方は5on5と同様に。話し合いの上でグレードアップもOK。          ・タイムアウト、一回だけ。諸々のことを審判が把握すべき。          ・靴ひもが解けたときはすぐに交代。出血の場合はフリースローシューターでも交代。</p> <p>5/19          ○3x3Challenger 報告(小島氏)          ・声を使うこと。DOG、Clear the ball、coaching、etc…          声の使い方も大切。</p> <p>○2019シーズン重点課題          ・基準の統一 → Clean basketball、Clean the game</p> <p>○メカニクス          ・IOT          1、Call Obvious          2、Stationary and distance …Position adjust ただ止まってプレーを眺めるのではなく、笛を鳴らすまでに最適なアングルとポジションをとっておかなければならない。          3、Referee Defense …Cross Step ※5on5と同様          4、45 degree and Open angle          5、Stay with the play          6、Smell the fire … 選手のインテンシティを常に把握し、ラフプレーに的確に対応できなければいけない。          ・プライマリエリア、プライマリアングル          ・トレイルは必要に応じて高いポジションをとる。          ・リードは1 or 2を必ずフラッシュする。</p> <p>○最後に          今回、本研修会に参加して3x3の国内での商品価値が非常に上がってきていると感じた。その場に自分が立てることの喜びを感じると同時に、責任の重さも実感することができた。ガイドラインやマニュアルは今後さらに発展し、確立されていくはずである。常に新しい情報を収集し、自分の審判技術の向上につなげていきたい。</p>					